

リレー・フォー・ライフ・ジャパン レポート 2021



Remember

主催

公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ・ジャパン実行委員会

2021年度のリレー・フォー・ライフ活動を終えて

世界中で展開されているリレー・フォー・ライフ（RFL）ですが、コロナ感染という未曾有の事態に直面し、いま多くの方々が苦難のなかにいらっしゃいます。そんななか、RFLに対する多くのあたたかいご声援をメールやSNS上でいただきました。コロナ禍だからこそ、RFLがみんなのHOPEであることを強く感じます。活動を牽引してくださっているボランティア実行委員会、変わらぬご支援をいただいているナショナルスポンサー様をはじめとする企業、団体様に深く感謝申し上げます。

RFLの真髄はリアルに語り合い触れ合うことだと思っています。しかし今年も残念ながらほとんどの地域でリアルイベントは叶いませんでした。感染症が人と人のつながりを分断し、常にソーシャルディスタンスを私たちに強いたからです。今できることは何なのか？実行委員の皆様には、オンラインミーティングをはじめコロナ禍における運営に苦労を重ねていただき、また趣向を凝らしたオンラインイベントやセルフウォークリー（SWR）などを可能な範囲で実施していただきました。誠にありがとうございました。

この冊子は、主にそうした各地区の実行委員会からの活動報告で構成されています。苦悩の中で、がんと向き合う勇気や希望が感じられます。たとえ会えなくても、今や情報を共有することで想いは繋がるのです。その新たな発見は、我々のリレーをひと回り強く大きくしてくれた気がします。

2021年度は「3つのC」を合い言葉に活動を進めてまいりました。①ChallengeとしてSWRの拡大をあげ、昨年度と比較し27イベントへと大きく成長しました。②Changeとして、「夜間越え」を必須から推奨に、大きな混乱なくルール変更できました。③Communicationとして、リレー活動の支援者間での更なる関係構築を目指しました。実行委員会向けのニュースレターを毎月1日に発行し、オンライン「みんなでリレー・フォー・ライフ」を10回実施しました。また「Global Heroes of Hopeの会」と「アドバイザリーボード」の運営は、リレーにおけるコミュニケーションを支え基盤を強くするものでした。「コロナ禍でもできること」を目指した結果が、おかげさまで少しずつ目に見えてきました。

あらためまして、2021年度をご支援いただいた全国の実行委員会の皆様をはじめとした全ての方に深く御礼を申し上げます。そして、来年度も引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ チーム一同

岡本宏之	(事務局長・RFL統括マネジャー)
原優子	(RFLアシスタントマネジャー)
松島順子	(RFL担当)
平野登志雄	(スタッフパートナー)
大菅善章	(スタッフパートナー)
時森由佳	(スタッフパートナー)
堀均	(スタッフパートナー)
郷州葉子	(スタッフパートナー)
堀切園恵美	(サポートー)

リレー・フォー・ライフとは

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティー活動です。

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。共に歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界約30ヶ国、約4500ヶ所で開催され、年間寄付は300億円にのぼります。

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとしてウォークイベントが開催されます。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、がん征圧を願い歩きます。

RELAY FOR LIFEの使命と3つのテーマ Save Lives

セーブライブス

祝う

Celebrate

しのぶ

Remember

立ち向かう

Fight Back

がんの告知を乗り越え、今を生きているサバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また病の痛みと悲しみと向き合っている人たちを敬います。

がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や苦しむ人をなくす社会をつくります。

3つのテーマに支えられ、使命であるSave Livesが成り立っています

ロゴについて



リレー・フォー・ライフのロゴは、太陽を月と星をかたどった世界共通のものです。

それは昼夜を問わず、がんという病に立ち向かう世界中の数えきれない人々の勇気とリレー参加者への絶え間ないサポートを象徴しています。 いつの日かがんで悩むことのない社会が訪れるという希望の星をかけ、輝く太陽の下、降りそそぐ月の光の中で参加者が一丸となって共に病に立ち向かう。

リレー・フォー・ライフのロゴには、そんな思いが込められています。

皆様からのご寄付

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、公益財団法人 日本対がん協会を通じて、
下記のような支援に充てられています。

がん患者支援

がん征圧

▶ リレーイベント



年間活動の締めくくりです。チームの仲間と会場でタスキをつなぎ歩いたり、キャンドルライトセレモニー「ルミナリエ」をおこないます。

▶ がんの悩み相談



看護師・社会福祉士などによる電話相談を実施しています。患者さんだけでなく、ご家族やご友人の方などどなたでも無料で利用できます。

がん相談 ホットライン

☎ 03-3541-7830 予約不要

毎日(祝日・年末年始を除く)
午前10時～午後1時、午後3時～6時
どなたでもご利用頂けます

▶ プロジェクト未来



がんの新しい治療法や新薬開発、患者のQOL改善に向けた研究に寄付金が活用されています。2021年度は12名の研究者に助成金が贈られました。

▶ がん検診受診率アップ



ポスター・パンフレットを制作・活用し受診を呼びかけます。支部と連動したリレー会場における検診車の手配や、セミナーなどの啓発活動もおこなっています。

▶ 若手医師育成

がん医療を深く学びたい若手医師育成のため、海外留学研修費用の一部を助成する取り組みです。
(2021年度はコロナの影響で募集なし)

2019年度 奨励賞受賞者 宇田川 韶さん

リレー・フォー・ライフの寄付により、アメリカ、テキサス州ヒューストンのMDアンダーソンがんセンターで、肺がんの研究をしています。ここで得られた経験を、がん患者さんに還元できるよう、日々努めています。



2021年度 リレー・フォー・ライフ 取り組み

2021年度のコロナ禍におけるリレー・フォー・ライフ本部主導の3つの企画をここに紹介します。

日本のRFLは、2006年にプレ開催されて以来16年の月日が流れました。いつの時代でもがんサバイバーさんの声は不变です。コロナ時代でも変わらぬ声に寄り添い託された願いを叶えるためには、その時々に応じたRFLの枠組みと取り組みが求められていると感じます。

RFLJグッズを身に着けて応援しよう

第1回申込受付 7/3-7/13

第2回申込受付 8/4-8/18

昨年度に引き続き、「RFLJグッズを身に着けて応援しよう」を実施し、ご寄付いただいた方にRFLJ15周年を記念して作製したオリジナルTシャツをお送りしました。

この取り組みにより、総額410,000円のご寄付を頂戴し、Tシャツ製作費や送料など必要経費を除いた258,555円を「がん相談ホットライン」の運営経費として使用しました。



RFLJ15周年記念Tシャツのデザインについて

Tシャツは、毎年「プロジェクト未来がん研究助成」の応募ポスターでご協力いただいており、10周年ロゴのデザイナーでもある、名古屋デザイナー学院の柴田始志先生にデザインをお願いしました。

このデザインには「15の笑顔：笑顔にしたい。という言葉では軽すぎるほどの強い思いや願いに支えられて迎えた15年目。それでもやっぱり笑えるように、大切な人や関わる人たちの思い描く顔が笑顔でありますように。願いを込めて、15とルミナリエでつくった笑顔をシンボルにしました」といった想いが込められています。

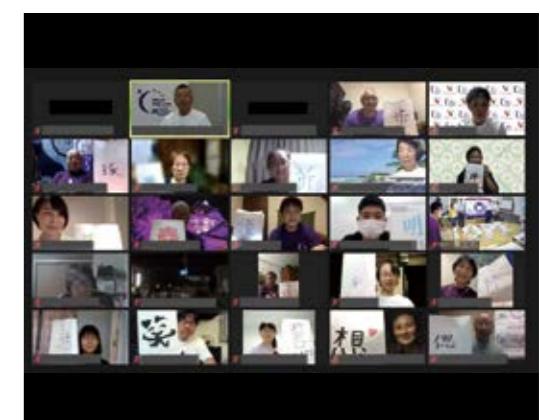
ONE HOPE NIGHT ~同じ空のしたで~

開催日 8/3

RFL創始者、ゴルディー・クラット氏の命日である8/3夜、オンラインイベント ONE HOPE NIGHT ~同じ空のしたで~を昨年に続き開催しました。

参加者ひとりひとりが偲び、ルミナリエをかけ、そこに書かれた想いをお話しいただく時間はかけがえのないものとなりました。

今年度はZoomでのご参加とYouTubeの生配信で多くの方をご参加いただきました。



RFLセルウォーキリレー2021

期間：6月～11月

目標達成！ 5億4,245万歩

電話相談7,077件分のご寄付



参加者が好きな時に好きな場所で歩いた歩数をスマホアプリに登録。歩数に応じた金額が支援企業からマッチング寄付される新しい形のオンラインチャリティイベントです。がん患者支援はもちろんのこと、参加者自身の健康増進にもつながります。

今年は、初開催の昨年の経験を活かし、株式会社コングラントとスマホアプリ minpo を共同開発しました。できる限りシンプルでスムーズなアプリ連動を心掛けたリレー仕様のデザインです。また、実行委員会や企業など任意の団体が、思い思いの実施期間を設定できるプログラムにしました。その結果、協会本部に加え、19実行委員会と7企業、計27団体に参画いただきました。期間は8日間から1か月と様々ですが、最多の533名が参加された企業もありました。セルウォーキリレー（SWR）の模様は、各団体のホームページやSNSをはじめ、各地区の新聞、ラジオやテレビなどのメディアを通じて配信されました。全国で4,662人（昨年は2006人）が参加、目標の5億歩を達成することができました。

上記27イベントのご寄付は870万円（詳細は右ページ）。それに特別協賛13企業のマッチング寄付合計額1,960万円を合わせた計2,830万円が今年のチャリティ SWR の結果でした。お預かりしたご寄付は、日本対がん協会が運営している「がん相談ホットライン」の相談7,077件の運営に充てられます。ありがとうございました。

ご参加いただいた内439名の方からは「がんサバイバーのお力に少しでもなればと思い参加しました。たくさん歩いて、たくさん応援したいと思います!」「最近私自身ががんに罹患し手術を行いました。術後リハビリとしての散歩が支援に繋がればこれほど喜ばしいことはありません。頑張って歩きます!」などのメッセージをいただきました。コロナ禍における新しいリレーの形として、今後も改良し継続してまいりますのでよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、Minpo システム開発に向けて一緒に取り組みのうえ多大なるご支援をいただいた、武田薬品工業様、とまこまい実行委員会様に対し深く感謝申し上げます。

	実行委員会/企業チーム名	SWR 実施日時	歩数	参加者数	寄付金 (円)
1	三重(参加費無料トライアル)	6/12～30	7,319,710	279	29,000
2	きたかみ	8/28～9/4	2,684,251	71	82,000
3	信州まつもと	9/1～30	4,372,356	41	48,000
4	いわて	9/1～20	3,332,562	36	35,000
5	佐賀	9/1～30	2,768,680	47	66,000
6	静岡	9/1～30	6,777,006	61	101,000
7	ブラザー	9/1～30	35,527,971	210	216,000
8	熊谷組	9/1～30	61,090,668	309	1,311,000
9	さいたま	9/1～30	31,012,910	224	306,000
10	滋賀医科大学	9/11～10/10	18,915,606	120	172,000
11	わかやま	9/12～10/11	11,654,625	66	84,000
12	川越	9/18～26	15,072,984	148	169,000
13	信州長野	9/18～30	3,244,337	74	87,000
14	とまこまい	9/18～10/17	44,376,918	416	1,286,000
15	京都	9/26～10/23	11,523,091	105	111,000
16	御茶ノ水	10/1～30	29,056,508	201	289,000
17	ベックマン・コールター	10/1～30	21,950,757	119	590,956
18	室蘭	10/2～31	24,791,631	224	874,000
19	大分	10/14～24	20,654,086	378	361,000
20	チームタケダ	10/24～11/23	80,806,164	533	1,309,000
21	神戸	10/30～11/28	3,923,262	23	26,000
22	小野薬品工業	11/1～30	38,285,505	297	302,000
23	沖縄うらそえ	11/1～30	11,596,334	137	105,000
24	佐世保	11/1～14	15,010,143	301	373,270
25	ECC	11/1～30	10,703,232	59	77,000
26	エーザイつくば	11/1～30	6,229,454	51	100,000
27	日本対がん協会	11/1～30	19,778,354	132	198,000
合計			542,459,105	4,662	8,708,226

*全てアプリ分に非アプリ分を加えた合計

北海道 室蘭市

来年こそは！

事務局長
小田中 稔

残念ながら新型コロナウイルス感染症の収束が見られないため、リアルでのイベントは断念し、RFLJ室蘭は、今年もセルフウォーキングのみの開催となりました。期間は10月2日から31日までの30日間といたしましたが、想定しておりました倍以上の224の方にご参加いただき、総歩数につきましても、当初目標の倍以上の24,791,631歩となりました。また、今年多くの企業や団体の皆様からご寄付も頂きました。ご協力いただきました皆様に改めて心から感謝申し上げます。

現時点（2021.12）においては、日本国内においては新型コロナウイルス感染症は抑えられている状況ではありますが、世界的にみるとブレイクスルー感染等、感染拡大傾向にあり、3回目のワクチン接種が進められている状況であります。

また、RFLJ室蘭の会場は、室蘭市港湾部所管の土地をお借りしておりますが、現在、洋上風力発電関連施設の建設設計画が進められており、もしかすると現地での開催は来年が最後となるかもしれません。

新型コロナの感染状況を含め、来年の夏がどのような状況になっているかは不透明であります。来年こそは、室蘭の会場で皆様とお会いできることを楽しみにしております。

（写真は、2019年度開催時のものです。）

総 収 入	974,000円
実 行 経 費	120,162円
寄 付 総 額	853,838円



リアル開催

開催地	—
オンライン	—
SWR	10月2日～10月31日

総 収 入	130,539円
実 行 経 費	122,811円
寄 付 総 額	7,728円

とまこまい実行委員会

北海道 苫小牧市

ひとりじゃないという思いは
きっとつながる副実行委員長
藤田 廣美

「RFLJとまこまい」は今年も感染症の影響により会場イベントの開催を断念し、2回目となる「セルフウォーキング@とまこまい」を9月18日～10月17日にかけて開催しました。

今年はみんなで楽しく歩いてがん患者さんを支援したいと、苫小牧市の公式キャラクター「とまチョップ」の育成キャラの登場や、歩いた景色や動画をSNSで共有する「SWRぶらとま探検隊」などの取り組みを実施して、参加者からは離れていても一緒に歩いていることを実感したと大変好評でした。また、セルフウォーキングは地元の新聞に何度も掲載され、NHKやケーブルTVでも紹介されるなど、RFLJの活動を幅広く伝えることが出来ました。

今年の参加者はサバイバーさん33名を含めた416名（目標300名）、寄せられた歩数は4千4百37万歩（目標1千万歩～変更3千万歩）となりましたことを報告いたします。

イベント終了後には当実行委員会下村事務局長が米国対がん協会より‘2022 Global Heroes of Hope’認定という嬉しい知らせを受けました。事務局長のこれまでの頑張りに心から敬意を表したいと思います。

「セルフウォーキング@とまこまい」にご支援いただいた企業、団体の皆様、そしてオンラインで参加下さった全国の皆様に心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。今後ともRFLJへのご理解とご協力を何卒よろしくお願ひいたします。



リアル開催

開催地	—
オンライン	—
SWR	9月18日～10月17日

総 収 入	1,451,459円
実 行 経 費	151,459円
寄 付 総 額	1,300,000円

青森県 八戸市

コロナなんかに
リレーフォーライフは負けねーぞ実行委員長
小渡 章好

2021年の八戸のリレーフォーライフは6月26,27の両日開催される予定でした。前年のリレーが突然のコロナ渦により開催不能となり、今年こそは、と意気込んで新年を迎えたものの、コロナの勢いは弱まることはなく第1回以来の6月開催は断念、10月開催なども検討しましたがサバイバーが多く関わり参加するイベントの特性のリスクを考慮し、最終会議に参加した実行委員全員の意思により本年のリレーフォーライフは行わない、と決定しました。それでも、なんらかの活動をと、実行委員たちは中心街の施設でルミナリエの開催を計画しましたが、市有施設の使用閉鎖等もあり断念しました。

「今年もリレーフォーライフはできないですね」。何人もの知らない方から声をかけられた実行委員は一人にとどまりません。参加経験のある方、会場まで行ったものの中に入る勇気を持てなかったと言う方、など様々な方々です。リレーフォーライフが地域に欠かせない大切なとして根付きつつあることを実感させられました。リレーフォーライフは未来の人たちからの預かり物でもあることを感じました。

コロナは自在に変異し、跋扈している。であれば、対峙して生きるわたしたちはさらに自由度高く変化を遂げるチャンスとすべきではないか。そんな意見交換も八戸ではできないだろうか。各地域ではオンラインなど多様なツールを活用した新たなチャレンジで、リレーフォーライフの世界を拓げようとしている。



リアル開催

開催地	—
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	130,539円
実 行 経 費	122,811円
寄 付 総 額	7,728円

青森実行委員会

青森県 青森市

コロナとの共生

事務局長
加藤 幸二

日頃からご支援頂いている皆様におかれましては、今年度も大変お世話になりました。

今年度もコロナウイルス蔓延の状況は変わらず、実行委員会を含め協議した結果、サバイバーの方々の体調第一と考え今年度も開催を見送らせて頂きました。楽しみにしていた皆さんには大変申し訳なく思っているのと同時に、2年連続未開催ということで、せっかく5年間開催し少しづつ浸透してきたリレー・フォーライフ自体が忘れられてはいないか心配になっています。

同じく心配事としては新聞、報道等でも取り上げられておりますが、コロナウイルスが「がん検診」にも影響が出てきていると聞き、来年以降の罹患者増が懸念されます。そのような状況において、我々にできること考えてみると、やはり年間を通しての「がん啓発、啓蒙活動」なのかなと感じています。私自身どちらかというと、リレーイベントをゴールに走っている感がありましたので、これからは初心に戻り活動していきたいと思います。

来年こそは皆さんと再び元気な姿でお逢いできることを楽しみにしております。



リアル開催

開催地	—
オンライン	—
SWR	—

総 収 入	213,000円
実 行 経 費	0円
寄 付 総 額	213,000円

岩手県 一関市

十年一昔～次の一步へ

副実行委員長
小野寺 佳美

「ひとりじゃない」と掲げ、歩み続けた一関地域のRFL。2021年は10周年の記念大会として盛大に開催したいところでしたが、昨年同様、新型コロナウィルス感染防止を考慮したRFL活動をどのように進めるか協議するところから始まりました。他の地域での取り組みを参考にしながらも、「いわて」らしさや10周年を迎えたことを大事に考え取り組みたいと話し合いを重ねました。

10周年のロゴを入れたポロシャツを作成し、過去にリレーイベントへ参加したチームなどに呼びかけ、地元の衣料品店の協力もあり約300枚販売しました。患者会や実行委員からの寄稿文をまとめた10年間を振り返る記念文集を作成しました。手作りでしたが感慨深いものになりました。

9月11日夕方からの3時間、いつもの公園でルミナリエを灯し、オカリナの演奏、記念文集の朗読、エンブティーテーブルセレモニーを実施しました。動画配信もチャレンジしました。短時間でしたが約60名の参加者を迎えたミニイベントを開催することができました。

コロナ禍でできることが制限されるからこそ、RFLで何をしたいのか改めて考える機会になり、各実行委員会で個性がでているのだと感じています。いわて実行委員会は新たな一步を踏み出します。

いわて実行委員会



リアル開催 9月11日

開催地 一関遊水地記念緑地公園

オンライン —

SWR 9月1日～9月20日

総 収 入	2,070,173円
実 行 経 費	1,016,969円
寄 付 総 額	1,053,204円

岩手県 北上市

「誰のために、何のためにを忘れずに…」

実行委員長
高橋 寛美

RFLJきたかみ2021は、実行委員一同意見を出し合い、新たな試みを取り入れ工夫を凝らし、コロナ禍でもできることを考え様々実施して参りました。

啓発活動の一環としてラジオ番組『医療と福祉の現場から』を制作し、地元コミュニティFMから毎週放送してきました。さくらホールにおいてはにぎわいフェスとのコラボにて啓発活動を、アプリを活用したセルフウォークリー、岩手県立中部病院内には年間活動を紹介したパネルを掲示させていただき、市内企業、団体の皆様には募金箱の設置、協賛等多くの皆様のご理解ご協力を頂き、年間を通じて活動を行うことができました。

また2021年の集大成として、9月4日にはYouTube生配信にてリレーイベントを開催しました。生配信を行うにあたり事前収録、動画制作など実行委員の得意分野を活かして参りました。

この一年実行委員はじめとする皆様の協力があり、活動ができたものと思っております。RFLJきたかみ2022に向けて、「誰のために、何のために」を忘れず「がんになっても住みよい街きたかみ」を目指し、笑顔の絶えない実行委員会として活動して参りたいと思います。

RFLJきたかみ2021の活動にご協力、ご支援頂いた多くの皆様に感謝申し上げます。

きたかみ実行委員会



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 9月4日

SWR 8月28日～9月4日

総 収 入	904,718円
実 行 経 費	226,826円
寄 付 総 額	677,892円

宮城県 仙台市

2021年のRFLJみやぎを振りかえって。

実行委員長
高橋 悅堂

RFLJ2021みやぎは、11月20日に宮城県岩沼市「千年希望の丘 相野釜公園」を会場に、実行委員10名ほどが集まり、手作りで2時間のオンラインイベントを行った。

会場は東日本大震災で甚大な被害を受けた地区につくられた、海に近い公園である。この会場を選んだのには意味がある。今年は東日本大震災から10年。RFLJは地域とともにがんと向き合い、がん征圧をめざす活動である。宮城とともに歩んでいく活動であり続けるためには、東日本大震災の記憶と現状とともに歩んで行かなければならないと考えているからだ。それをどうにか形にしたかった。「地域とともに歩む活動」であり続けるために何をすべきか、RFLJみやぎの課題のひとつである。

だが、惜しむらくは今年もコロナの影響で思うように活動や準備が出来なかったことにある。来年もコロナの影響が避けられないと思うと、やるせない気持ちだが、その分、優しさはよりあたたかみを増すと思う。寄付や協賛支援をして下さった個人・団体さんの想い、支援動画を作成して下さった麦の穂音楽隊さん、ISSINさんの気持ち、そして実行委員のこころは、動画を視聴して下さったサバイバーさんやケアギバーさんにいつも以上にあたたかく届いていると思う。

苦しみのなかにあるからこそ、優しさは一層あたたかくなる。そんな想いを胸に2022みやぎに向かって行きたい。

みやぎ実行委員会



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 11月20日

SWR —

総 収 入	250,600円
実 行 経 費	42,000円
寄 付 総 額	208,600円

あきた実行委員会



リアル開催 11月27日

開催地 秋田県総合保健センター

オンライン —

SWR —

総 収 入	339,156円
実 行 経 費	15,000円
寄 付 総 額	324,156円

福島県 福島市

RFLJ福島2021を終えて

会計
安斎 紀

2010年からスタートし、東日本大震災の年は会場探しに苦労しながらも開催した福島のリレー・フォー・ライフ・ジャパンでしたが、昨年は他の実行委員会同様、新型コロナ感染症の影響で開催を断念しました。

しかし、今年は実行委員一同「コロナ禍だからこそがん患者の支援を」という想いで、今年は7月11日に「街なか広場」で3時間という縮小した形で開催しました。実行委員会もリモートで行うなど工夫し、当日は約20チームの参加がありましたが、各チームからは少人数での参加をお願いし、受付後に市内を自由に歩くというスタイルで実施しました。例年のようなイベントは出来ませんでしたが、会場では募金活動とチャリティーTシャツやグッズ販売などを行いました。また当日会場参加出来ない多くの方のためにSNSでルミナリエ動画を公開したり、小児がん支援の「レモネードスタンド」と同時開催したこと、今年の特徴です。また、今年のTシャツは、昨年開催に向けて準備していたデザインに、「2020」と「2021」を入れたオリジナルデザインに仕上りました。

このような状況下でも福島のリレー・フォー・ライフ・ジャパンにご協力下さった皆様に感謝致すると共に、来年も状況に応じた開催が出来るようにと願っております。

福島実行委員会



リアル開催 7月11日

開催地 街なか広場

オンライン —

SWR —

総 収 入	2,059,494円
実 行 経 費	1,174,831円
寄 付 総 額	884,663円

栃木県 廿生町

世界初!「走るルミナリエ」

ルミナリエ担当
江波戸 和香

RFLJとちぎは昨年中止を余儀なくされたため、今年こそは皆様にお会いしたいという想いで開催時間の短縮等の議論を重ね、直前まで準備を進めてまいりました。しかし新型コロナの感染拡大のために現地開催を断念し、プログラム内容を厳選の上、2時間でのオンライン開催となりました。それぞれの場所から実行委員が力を合わせ、走り抜けた2時間でした。私の担当したルミナリエ中継班は、当初は毎年開催していた会場にルミナリエを設置し中継する予定でしたが、会場が使用出来なくなつたことに加え当日の悪天候も重なり、やむなくチームフラッグと一部のルミナリエのみ日光市内の田んぼに設置し、それ以外はすべて室内の廊下にて紹介する形となりました。ご参加の皆様に少しでも楽しんでもらえるようにと、BGMが流れる中静止しているカメラに向かって実行委員がルミナリエを持って走って近づいていくという紹介方法に決まったものの、15分という短い時間の中でお預かりした千枚以上のルミナリエを紹介しなければならなかつたため、全てを紹介しきれるか不安を感じていました。しかしチャットからの声援を頂きながら走り続け、奇跡的に曲が終わると同時に最後の一枚を紹介することが出来た時は、これ以上ない達成感に包まれました。オンラインであっても繋がれたという喜びを抱いて、とちぎは2022年に向けて動き始めます。来年こそはリアルで皆様とお会いできることを心から楽しみにしております。

とちぎ実行委員会



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 9月18日

SWR —

総 収 入	1,942,142円
実 行 経 費	929,667円
寄 付 総 額	1,012,475円

群馬県 前橋市

ルミナリエとリレー動画で繋がる想い

副実行委員長
狩野 太郎

今年9回目となるRFLJぐんまは、昨年に続き新型コロナウイルス感染防止のため会場でのリレーウォークイベント開催を断念しました。大型台風の直撃を受けた一昨年から3年連続の中止となりましたが、事務局を担当している群馬県健康づくり財団の皆さまのご尽力により代替イベントを開催することができました。今年は同財団の駐車場を会場に、県内の皆さまから寄せられた700を超すルミナリエを設置し点灯イベントを開催しました。また、常連30チームの協力を得て、応援リレー動画の制作と配信も行いました。会場を照らすルミナリエには、闘病中のサバイバーの皆さんやご家族の願い、大切な人を見送った方の想い、がんに立ち向かう勇気が、イラストやメッセージで力強く描かれていました。応援動画にはフレッシュな若者、元気で明るい元若者、陽気なウクレレ演奏や、優しいギター演奏が寄せられ、会場に集まれなくとも心はつながっているように感じました。旅立っていったあの人にはもう会えないけれど、あの人が繋げてくれた新しい仲間と、次は緑の芝生の会場での人の想い出を語りたい、4年前に参加してくれた大学生達はもう卒業してしまうけれど、次は社会人となった彼・彼女らとまた会場で会いたい、と新たな希望が生まれました。

最後になりますが、事務局の皆さん、協賛企業、ボランティアの皆さんをはじめ、応援して下さったすべての方々に心から敬意と感謝を申し上げます。

ぐんま実行委員会



リアル開催 10月8日

開催地 群馬県健康づくり財団

オンライン —

SWR —

総 収 入	4,211,268円
実 行 経 費	803,756円
寄 付 総 額	3,407,512円

さいたま実行委員会

埼玉県 さいたま市

来年以降に繋げるための足跡を

実行委員長
大竹 秀幸

世界中がコロナに振り回された2年、私たちの活動も制限せざるを得ませんでした。コロナの影響で、直接・間接関わらず多くの人たちが命を落として苦しんでいますが、サバイバーの皆さんはコロナに関わらず毎日がんと向き合い、闘っています。

11月13日、毎年のイベントを心待ちにしていたサバイバーの皆さんに思いが届くよう、実行委員のメンバーのみによる手作りの「プチセレモニー」を開催いたしました。

ルミナリエ・エンブティテープル・サバイバーズラップ…

喜びと哀しみと感動が凝縮された記憶に残る1時間。

会場は、さいたま市が管理する恒例の「緑の広場」に隣接する農業施設の倉庫で、決して見栄えのするスペースではありませんが、旅立たれたサバイバーの皆さんのが会場探しで迷われない様にとの想いを込めて設えた会場でした。

リアルなチーム参加は叶いませんでしたが、ライブでZoom配信した会場の様子と共に、これまで参加頂いた53チームをスライドで紹介いたしました。2年お会いできなかったチームの皆様との再会とサバイバーの皆様への想いを込めた小さなセレモニーによって、2021年の足跡を残せたことに、準備・参加頂いた実行委員、協力頂いた皆様「One TEAM さいたま」に心から感謝を申し上げます。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 11月13日

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	1,818,115円
実 行 経 費	815,928円
寄 付 総 額	1,002,187円

埼玉県 川越市

ひとりじゃない！
～心はあなたとともに～事務局
遠藤 大介

今年も皆様には温かいご支援とご寄付をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。また、全国からSWRやオンライン配信への大勢のご参加、誠に有難うございました。

さて、RFLの国際実施基準には「毎年の開催をめざす」という文言があります。これまで折にふれ繰り返されてきた言葉ですが、今年以上にこの言葉の重みを感じた年はありませんでした。2021年1月の実行委員会では「川越水上公園（今までの会場）でのリアル開催を目指す」と意気込んで活動を始めましたが、春になっても感染状況は収まらず、水上公園での開催は断念せざるを得ませんでした。しかし、何とか皆さんと会える機会を作りたいと内容や時間をコンパクトにし、会場も街なかに移し企画を練り直しました。

リニューアルに併せ、市民一般向けのがん啓発や協賛企業ご紹介の意味も込めて「小江戸川越ハートウォーク（ウォークラリー）」を新たに企画。チェックポイントには、ルミナリエバッグや手形フラッグなど、リレーを象徴するグッズを並べ、リレーを知るきっかけづくりとし、また、今年から実施されたSWRの啓発として、アプリ「minpo」を活用して実施する予定でした。残念ながら、緊急事態宣言により実現しませんでしたが、またいざれ企画したいと思います。

来年も14回目の開催をめざし、皆さんと前に進んでまいりますので、ひきつづき温かいご支援をよろしくお願いします。

川越実行委員会



リアル開催 ー

開催地 ー

オンライン 9月18日

SWR 9月18日～9月26日

総 収 入	896,521円
実 行 経 費	318,301円
寄 付 総 額	578,220円

埼玉県 所沢市

がんのこと 知ろう・話そう・考え方

実行委員長
松島 一浩

2020年秋、6名の有志が集まりRFLJところざわ準備室を立ち上げました。この1年試行錯誤の連続でしたが、思いのほか多くの方のご支援を賜り、記念すべき第1回目のイベントを無事に開催することができました。ご参加、ご協力いただきました皆さんにこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

イベント当日は会場の所沢航空記念公園（埼玉県所沢市）に実行委員・サポートスタッフのみ集合し、会場を拠点に全国へオンライン配信を行ないました。

弊会のテーマ『笑顔と希望をつなぐ出会いが待っている。所沢で共に歩もう』は、実行委員全員で活動を通して何を達成したいのか考え、全員の想いを文章にした大切なテーマです。新型コロナウィルスの影響により、オンラインZoom開催となりましたが、テーマを具現化するため、聞くだけの一方通行ではない啓発企画を、「がんのこと 知ろう・話そう・考え方」と題し、質問時間を大きく割き双方向の参加型啓発イベントを実施しました。

またYouTubeライブ配信も同時にを行い、頂いたメッセージを番組内でシェアする等、工夫しましたが、機材トラブルにより配信が遅延してしまい誠に申し訳ございませんでした。

今後も地域の皆さまのお力を借りて、がん征圧・がん患者支援を目的に、寄付活動や啓発活動等を通じて希望が持てる社会にして行きたいと思います。

益々のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ところざわ実行委員会



リアル開催 ー

開催地 ー

オンライン 10月16日

SWR ー

総 収 入	527,500円
実 行 経 費	203,706円
寄 付 総 額	323,794円

千葉県 柏市

まずは、第一歩！前に

実行委員長
廣瀬 亜須可

11月20日晴天！無事にリレー・フォー・ライフ・ジャパン2021ちばを開催できました。ゼロからのスタート、実行委員長として右も左もわからずに発進しましたが、強力な助っ人を得て開催できたことに心から感謝致します。ありがとうございます。

細かなお手伝いや技術の提供、リレーウォーク、座談会の進行と参加、諸先生からお寄せいただいたビデオメッセージ、感謝しかありません。

本当なら立ち上げから仲間であった、ホリウチさん。7月23日に旅立つてしまわれましたが、私達は、きっとそばにいる！と感じながら会場にいました。同じ場で盛り上げてくれている声が聞こえるようでした。

まだ企業様、各種団体へのお声掛けは不十分でしたが、今後はご理解・ご協力いただけるような活動を目指します。そして来年は少しでもチームや、一般の方々にご参加いただけるよう、頑張りたいと思います。

まずは、第一歩！前に進められたことに我々、安堵しております。

皆さまのご協力、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



リアル開催 11月20日

開催地 千葉県立柏の葉公園

オンライン ー

SWR ー

総 収 入	153,300円
実 行 経 費	30,300円
寄 付 総 額	123,000円

東京中央実行委員会



リアル開催 ー

開催地 ー

オンライン 11月6日

SWR ー

総 収 入	1,235,704円
実 行 経 費	445,617円
寄 付 総 額	790,087円

東京都 文京区

RFLJ東京御茶ノ水、5周年を迎えて

実行委員長
柴山 春奈

皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、RFLJ東京御茶ノ水は、今年で5周年を迎えることが出来ました。御茶ノ水実行委員会は、日々がんと向き合っている方々を応援し、その思いに寄りそっていきたい、頑張りすぎている皆さんには、無理をしないで、周りの仲間に助けを求めてほしいという思いを込めて、「頑張らないを当たり前に」というスローガンを掲げて、活動してまいりました。

今大会は、オンライン開催2年目となりましたが、コロナ禍という制限されている中でも、昨年度は作成することが出来なかったサバイバーズフラッグを作ることができたり、同日にリレーイベントをオンラインで開催していたRFLJ大阪あさひとのコラボレーションという形でそれぞれの思いを共有したりなど、新しいことへの挑戦や、オンラインという特徴を生かした内容をお届けすることができたかなと思います。

また、オンラインだからこそ、病院にいても、そしてつらくて外に出ることができなくても、参加できるリレーイベントにすることが出来ましたし、直接的な交流が難しい中ではありましたが、リレー・フォー・ライフらしさ、御茶ノ水らしさも、十分に発揮することが出来たのではないかと思います。

がんと向き合い懸命に頑張っている人たちに、一人ではないことや仲間がいることを伝えられる、そして少しでも前向きな気持ちになれる、そんなリレーをこれからも繋げていきたいと思っています。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 10月23日～10月24日

SWR 10月1日～10月30日

総 収 入	766,576円
実 行 経 費	2,153円
寄 付 総 額	764,423円

神奈川県 横浜市

希望(HOPE)につながる活動

実行委員長
池田 誠吾

横浜実行委員会としては4回目となるイベントも無事に終えることができました。今年も終息しないコロナの影響で時間も人数も縮小しての開催となりましたが、皆様の温かいご寄付・ご協力により、目標を大きく上回る金額が集まりました。ご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

皆さんのご協力が、現在、そして未来のサバイバーへの希望(HOPE)に必ずつながります。がんで悲しむ人や悩む人がゼロになる日はきっと訪れます。その日をみんなで盛大にお祝い出来ることを目指してこの活動を続けていきます。来年こそはコロナが終息して、皆さんと会えることを実行委員のメンバー全員楽しみにしております。

「がん」が「風邪」と同じような扱いになるかのような世の中になりますように...。感謝。



リアル開催 10月2日

開催地 臨港パーク 芝生広場

オンライン 一

SWR 一

総 収 入	1,549,671円
実 行 経 費	362,671円
寄 付 総 額	1,187,000円

御茶ノ水実行委員会

新潟県 新潟市

実行委員会として何が出来るのか

実行委員長
石塚 紀明

にいがた実行委員会では、昨年に続いて「たがいに・にいがた」のキャッチフレーズのもとにイベント開催をいたしました。

誰もが体験したことのない未曾有の危機に直面した昨年は、かたちを変えてオンラインでのイベントに。迎えた今年は、「今年こそは通常開催を」「今年こそは直接お会いして温もりを伝えよう」と挑みましたがコロナの収束は見えず、2度目のオンラインという形になりました。そのような状況でしたが、沢山の皆様に「心の温もり」をお伝え出来ればと実行委員全員で頑張らせて頂きました。

私は、今回初めて実行委員長を務めさせていただきましたが、多くの方々にご支援いただき、また楽しみにしている方々の思いを糧に、無事に開催する事が出来ました。リレー・フォー・ライフの活動は、サバイバー、ケアギバーはじめ、活動に関わる沢山の方々のご協力によって続けられるのだと改めて気付き感謝しかありません。

来年も引き続き多くの方々に支えられ、支えて頑張らせて頂きます。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 9月19日

SWR 一

総 収 入	1,094,356円
実 行 経 費	747,182円
寄 付 総 額	347,174円

富山実行委員会

富山県 富山市

2022年にFirst Challenge

実行委員長
伊東 重明

富山は、first challengeをスローガンに9月に「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021富山」が初開催される予定でしたが新型コロナウィルスの感染拡大の影響によりご参加いただく皆様の健康と安全を第一に考え実行委員会での話し合いの上、来年2022年5月に延期と致しました。

辛いがんと闘っている患者さん及びそれを支えて頂いているご家族の皆さんやご友人を讃え、そしてがんと闘った末にやむなく天国に旅立ってしまった方々を偲ぶ場としてリレー・フォー・ライフというイベントを富山の皆さんに知っていただき、多くの方に喜んでいただこうと準備をしてきて参りましたので、延期の決断は非常に残念でしたが、今後は引き続きより一層充実した素晴らしいイベントとなるよう実行委員会一同知恵を絞って企画していく次第であります。

最後になりましたがこのような情勢の中、ご支援、ご厚情を賜りました皆様に感謝の想いと御礼を申し上げます。

来年5月にリレー・フォー・ライフの会場で皆さんと笑顔でお会いできるよう楽しみしております。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 一

SWR 一

総 収 入	0円
実 行 経 費	0円
寄 付 総 額	0円

石川県 金沢市

石川実行委員会

メッセージツリー～今年は二か所で！～

実行委員長
龍澤 泰彦

昨年度に引き続き、メッセージツリーで想いをつなぎました。昨年しいのき迎賓館の1か所に設置したツリーを今年はもう1か所、金沢港クルーズターミナルにも設置しました。クルーズターミナルはクルーズの拠点として金沢の海の玄関口として新しい賑わいを創るべくして2020年の6月にオープンしました。ご存知のように船旅を楽しむこともできないような状況ですが、開放的なデッキもあり今のご時世にぴったりの外出先として、地元の人に愛されるスポットとなっています。

そんな場所にツリーを増やした結果、なんと昨年の約4倍、450ほどのメッセージをいただきました。お子さん連れで書かれたようなもの、治療中のお友だちやご家族に宛てたもの、先に逝った方へ語り掛けるようなものなど、たくさんの想いがツリーを彩りました。

わざわざ足を運んでくださった方もまたま通りがかりに足を止めてくださった方もいらっしゃったことと思います。メッセージをくださったみなさまに心から感謝いたします。

今年も皆さんの想いをYouTubeにupしましたので、ぜひご覧になっていただければ幸いです。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 一

SWR 一

総 収 入	5,838円
実 行 経 費	3,222円
寄 付 総 額	2,616円

福井県 福井市

ふくい実行委員会

コロナ禍でもつないだ「Save Lives」

実行委員長
鶴渕 浩子

TVで見たあの活動が、リレー・フォー・ライフ・ジャパン（以下RFLJ）の取り組みなのだと、記憶と知識が一致したのは、初めてふくいのリレーイベントに參加したときだった。私が福井県立病院のがん相談支援センターのがん専門相談員になったときなので、もう6年も前のことになる。

会場は、福井市郊外にある自然に囲まれた「ふくい健康の森」の中にある。会場に立つとその幻想的で非現実的な空間に魅せられる。人々が歩いている400mトラックは木立に囲まれ、夜はろうそくが灯されたルミナリエが素敵で、心静かに今、このときを会場にいる皆と共有した。RFLの使命であるSave Livesは三つのテーマに支えられている。それらとゆっくり向き合える時間がそこにはあった。

活動に魅せられた私は実行委員会に入らせてもらった。飲食物を用意し参加者向けのイベントを新たに実施する等、自施設のテント内も充実を図った。残暑が厳しい中、ホッとできるくつろぎと交流の場を提供できたと思う。

RFLJふくいにとって10周年にあたる昨年、コロナ禍となった。今年も集合形式では行えず、県立病院では、2階渡り廊下の出窓部分にルミナリエを展示した。患者さんだけでなくスタッフにも好評で、ルミナリエに書かれた文字やイラストを見て涙ぐまれる人や素敵ねと声をかけてくれる人もいた。

やはり皆と共有したあの時間には代えられないが、どのような形であっても24時間がんと闘っている人達のSave Livesをしていきたいと思う。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 一

SWR 一

総 収 入	200,001円
実 行 経 費	880円
寄 付 総 額	199,121円

山梨県 甲府市

甲府実行委員会

それでもつなげる意志

実行委員長
前澤 美代子

この夏、私はワクチン班の看護師として1200人以上に、コロナ対策のワクチンを接種させていただきました。しかし、コロナの猛威は収まらず、甲府でも対面でのイベント開催を中止しました。その中、ラジオからメッセージを届けるプログラムをメインにリレーイベントを行いました。サバイバーズトークを中心にして、実行委員それぞれのリレー・フォー・ライフに添える想いを伝える2時間番組で配信しました。持続可能な範囲で実行委員はじめ関係する方々の創意工夫によって今年の甲府の活動は実現したと思います。

一方、「ルミナリエを是非どこかで開催してほしい」、「あの厳かな時間で自分を取り戻せる」という意見が多く寄せられました。この思いもどこかで形にしていくと思います。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 8月27日

SWR 一

総 収 入	489,706円
実 行 経 費	264,550円
寄 付 総 額	225,156円

信州長野実行委員会

長野県 長野市

実行委員長
北條 千秋

一緒に歩こう

2020年は、新型コロナウィルス感染拡大の影響もあり、規模を大幅に縮小し、実行委員会メンバーによる短時間でのルミナリエセレモニーを行い、その様子はホームページ等で配信することができ、その日を楽しみにしてくださった多くの方々の想いを何とかつなげることができました。

2021年は、2012年に長野市でリレー・フォー・ライフを初めて開催してから10年になる年です。節目として10年目のリレーは、再び多くの皆さんと直接お会いできる機会となればとの想いから、コロナ禍の終息が見えない中ですが、短時間でチームの参加人数も制限しての開催を目指しました。

しかしながら、7月から8月の感染者急拡大を受け、やむなく中止を決定しました。これは、がんと闘っている方々、支えている家族、医療従事者の方々の安全を第一にしたものです。いまは通常の医療を確保することこそが、この地域のがん治療に資するとの判断でした。

周知や説明が困難な中でしたが、セルフウォークリーには、70数名に参加いただきました。お互い会うことはできませんが、アプリを通じて時間と空間を超えて、同じ想い、目的を共有し、信州長野が第一回からテーマにしてきた「一緒に歩こう」を感じることができました。

2022年に向けては、つながりがある、支えがある、決して一人ではないを感じることができるリレー・フォー・ライフを求め、活動していきます。



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 一

SWR 9月18日～9月30日

総 収 入	311,000円
実 行 経 費	127,174円
寄 付 総 額	183,826円

長野県 松本市

今できることを

事務局長
今村 仁美

終わりの見えないこのコロナ禍の中で、今私たちができる精一杯のことをしたいという想いの中での一年間の活動でした。

当初は9月4日に松本城大手門枡形跡広場でのイベント及び松本市市民活動サポートセンターから配信のハイブリットでの開催を予定していました。しかし、直前にコロナウイルスの急激な感染拡大による長野県独自の「命と暮らしを救う集中対策期間」ということでイベントの中止又は延期の要請が発令されました。そこで苦渋の決断として、枡形跡広場でのイベントの延期、市民活動サポートセンターから盛田大介実行委員長をはじめとしたがん専門医の先生方の講演等の配信のみ実施という選択をせざるを得ませんでした。

当日は経験のある実行委員を中心に配信を行いましたが、初めてということもあり、小さなトラブル、反省点も多々ありました。しかしながら皆様の支えもあり無事全ての配信を終えることができました。

また、9月に延期した枡形跡広場でのイベントは10月2日素晴らしい秋晴れの下開催することができました。今回は松本市内に点在する井戸巡りをしながらウォーキを楽しんでいただき、イベントの最後には皆様の想いのこもったたくさんのルミナリエとともにエンブティテーブルのセレモニーを実施しました。

コロナウイルスの収束とともに、また気兼ねなく皆様にお会いできる日を待ち望まずにはいられません。

信州まつもと実行委員会



リアル開催 10月2日

開催地 松本城大手門枡形跡広場

オンライン 9月4日

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	845,437円
実 行 経 費	221,006円
寄 付 総 額	624,431円

岐阜県 岐阜市

来年もまた逢おう。ひとりじゃないよね。

実行委員長
吉田 正樹

2年振りの対面リアルイベントが、無事終了いたしました。

今年も4月から10月には何らかの形でイベントを開催しようという熱い想いで、委員会を開いてきましたが、その委員会もコロナ感染対策としてほとんどweb会議で、いつも開催できるかできないかの繰り返しでした。

「より多くの人にリレー・フォー・ライフを知ってもらいたい。」を掲げ一般の方々が往来するぎふメディアコスモスカオカオ広場で開催しました。密を避けたリアルイベント、そして夜越えをせず、安全安心を心掛けました。初めての夜のラストウォーカ、閉会式と貴重な体験をしました。幕を閉じる前、西の夜空には三日月と金星が優しく微笑んでいました。「来年もまた逢おう。ひとりじゃないよね。」とつぶやいていました。

実行委員、スタッフの皆さんお疲れ様でした。そして何よりご協力くださった方々には心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

岐阜実行委員会



リアル開催 10月9日

開催地 ぎふメディアコスモス

オンライン —

SWR —

総 収 入	336,323円
実 行 経 費	76,674円
寄 付 総 額	259,649円

静岡県 静岡市

静岡の継続開催にむけて

副実行委員長
村田 貴彦

令和3年11月6日（土）「RFLJ 2021静岡」が静岡県立大学と共に開催されました。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなく中止となりました。又、今年は当初9月18日（土）に開催予定でしたが台風の接近及び新型コロナウイルスの感染状況を考慮して11月6日に延期することにしました。そこで、今年は来年以降に向けた継続開催につなげるためにまずは開催することを目標にして現地での参加者はRFLJ静岡実行委員を中心とした25人のメンバーに絞り、県立大学の渡邊先生の研究室とAVLサークルのメンバーの協力を得て、Zoom及びYouTubeによるリモートでのハイブリッド開催で県立大以外の場所からも大会に参加できるように企画しました。

夕方には多くの思いが綴られたルミナリエに燈が灯り、会場のモニュメント下には「HOPE」の文字が鮮明に映し出されました。従来、ルミナリエの灯りにろうそくを使用していましたが、今年からは、準備の作業量及び火を使用するリスクを避け、LEDランプを使用しました。ルミナリエの灯りや「HOPE」の文字は、経営情報学部の外階段に設置されたカメラに映し出され、リモートでの参加者にもはっきりと見ることができました。その後、大講堂ではルミナリエセレモニーが行われ、天国に旅立った仲間を偲ぶと共に、がんで苦しむ人、苦しむ人がいなくなる社会を築く大切さを、参加者一同、心に刻みました。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン 11月6日

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	1,213,769円
実 行 経 費	350,551円
寄 付 総 額	863,218円

東三河実行委員会

愛知県 豊川市

二年ぶりの開催は
『ONE HOPE NIGHT』実行委員長
小林 良紀

昨年は「RFLJ東三河」のイベント開催を断念し、応援いただき皆様から残念がる声や来年はぜひ開催してという声を多く聞きました。この反省を踏まえ今年はぜひ開催しようと準備を進めました。日に日に変わるコロナ情報に注視しつつ、イベント内容に臨機に対応できるよう計画を練りました。ワクチン効果により規制緩和傾向にありましたが、時期尚早と判断し、チーム参加やリレーウォークは中止しルミナリエセレモニーを開催しました。併せて対がん協会主催の「セルフウォーキング」への参加周知と動画のライブ配信を行いました。会場と自宅及び職場が同じ時間を共有できたと思います。

当日は肌寒さを感じる日にもかかわらず、ルミナリエセレモニー会場には多くの皆様が見学に訪れ、希望の灯に祈りを捧げ、朗読に生演奏に耳を傾け、大切な人を想う静かな夜を過ごされました。また、会場内でセルフウォーキングへの参加周知を呼びかけ、スタッフ等10名の皆様に11月末まで実施していただき、総数120万歩の記録を達成しました。この成果を今後のチーム及び協賛企業の参加に繋げ、より大きな絆の輪に広げたいと思います。

今年はコロナ禍のイベント開催で不安もありましたが、皆様の元気な姿を見て私たちの思いは繋がっていると改めて実感しました。来年も「RFLJ東三河」のイベント開催と「SWR東三河」の参加を目指し頑張ります。



リアル開催 11月7日

開催地 豊川市体育館前広場

オンライン —

SWR —

総 収 入	409,363円
実 行 経 費	74,890円
寄 付 総 額	334,473円

三重県 松阪市

大切な人に届いた、それぞれの祈り

会計
水谷 貴子

2021年1月、悲しい知らせが届きました。前回開催の実行委員であった仲間が、天国へ旅立たれたと…。笑顔の素敵な彼女はまだ若く、懸命に病と闘っていました。彼女のためにも、何としても三重でリアル開催を目指す!!

リモートで定例会議を重ねるうちに、出来ることを新しいやり方で、知恵を出し合い、そして何より安全に、実行委員みんなの心がひとつになっていきました。

梅雨の中休みとなり、爽やかな青空のもとを迎えた開催当日。久々に実行委員のみんなと会えた喜び。夕暮れとともに、それぞれの想いが込められたルミナリエバックに、静かに灯りがともされました。一本の道のように繋がる灯りは、天国の彼女への道標となってくれたのでしょう。エンブティーテーブルの椅子には穏やかに微笑む彼女の姿が見えました。

コロナ渦ではありましたが、たくさんの方の暖かい協力のおかげで、すべて予定通り無事に終えることが出来ました。規模を縮小しての開催は、より人ととの繋がりや、がん征圧に向けての想いを丁寧に感じることが出来たのだと思います。

厳しい状況の中、お手伝いいただいたボランティアの方々、会場に足を運んでくださった参加者の皆様に感謝いたします。

また、全国で初めての試みであった「セルフウォークリレー」にてご参加いただいた方ありがとうございました。

ひとりはみんなの為に、みんなはひとりの為に。さあ、来年に向けて準備を始めよう!

三重実行委員会



リアル開催 6月12日～6月13日

開催地 松阪市総合運動公園

オンライン －

SWR 6月12日～6月30日

総 収 入 1,133,958円

実 行 経 費 278,009円

寄 付 総 額 855,949円

滋賀県 大津市

コロナを追い風に。自信と展望

実行委員長
上原 希

昨年の初めてのオンライン開催から1年。なんとか対面で、という想いは叶わず、今年もCOVID-19の感染状況を鑑みて、完全オンラインでの開催となりました。しかし、実行委員会としての充実度は昨年と比較するととても大きいリレーイベントとなりました。

今年度のリレーイベントは「学生だけでどこまでできるか」「学生だからこそできることは何か」、この二点を追い求めました。学生のみで企画を作り出し、複数のテーマについて満足のいく啓発ができたと感じております。

加えて、実行委員と参加者の交流企画を行うことで、オンライン開催によって忘れていた参加者の皆さんとの繋がりを再認識することができ、「地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す」というリレー・フォー・ライフの目的の重要性を感じました。

参加者の皆様につきましても、自分の地域には頼れる場所があり、決して一人ではないということを感じていただけたのではないかと思います。

また、実行委員の卒業に伴い、来年以降は対面でのリレーイベントを知らない実行委員が大半となります。今年度の開催で身についたノウハウと自信を対面でのイベントに活かしていかなければと思います。対面開催となれば大変なことが多くなるかとは思いますが、今までとはまた違う視点からイベントを創り上げることができればと思います。

来年こそ皆様と会場でお会いできることを願っております。

滋賀医科大学実行委員会



リアル開催 －

開催地 －

オンライン 10月16日～10月17日

SWR 9月11日～10月10日

総 収 入 910,179円

実 行 経 費 485,817円

寄 付 総 額 424,362円

京都府 京都市

コロナ禍だからこそできることを

実行委員長
清水 大器

今年度のリレー・フォー・ライフ・ジャパン京都（以下RFLJ京都）は、府内でのコロナウイルス感染状況を鑑み、セルフウォークリレーの実施およびZOOMを用いたオンライン開催とすることを決断しました。

今年度も現地開催はかないませんでしたが、セルフウォークリレーでは、スマートアプリminpo内で確認できる歩数や参加人数を見て、がん患者支援のために共に歩いてくれる仲間がいることを常に感じることができました。

最終的に105名の方にご参加いただき、総歩数は11,523,091歩に達するなど、京都の底力に勇気づけられました。特筆すべきは、実に7割近い方がRFLJ京都の運営するイベントに初めて参加して下さっていたという点でした。これまでには会場に足を運ぶことができなかった方が、どこにいても参加できるようになったという点において、オンラインだからこそ良さを出せたのではないかと思います。

また、オンラインイベントの当日には、集まる場所としてのRFLJ京都を継続してくれてうれしいとのご意見を数多くいただきました。コロナ禍だからこそできることを今年1年間で精一杯やりぬいたことは、今後の活動においても糧になると確信しました。

来年もがんと闘う方々が集まる場所としてのRFLJ京都を開催できるように、実行委員一同、心を込めて準備していきたいと思います。



リアル開催 －

開催地 －

オンライン 10月23日

SWR 9月26日～10月23日

総 収 入	395,703円
実 行 経 費	150,925円
寄 付 総 額	244,778円

泉州かいづか実行委員会



リアル開催 －

開催地 －

オンライン 10月30日～10月31日

SWR －

総 収 入	484,612円
実 行 経 費	209,922円
寄 付 総 額	274,690円

大阪府 大阪市

「世界一やさしいRFLを目指して」

事務局長
遠藤 晃弘

RFLJ2021大阪あさひは、おかげさまで無事に終了致しました。コロナの影響で開催が危ぶまれましたが「誰かが待っていてくれている限り、やらないと言う選択肢は無い!」との思いで、この状況下で何ができるか?を実行委員会で協議しプランを練り、多くの方々にご協力いただき今年も開催することができました。会場はブースや人が少なくてちょっと寂しい感じもありましたが、コロナ禍の中にも関わらず、約150名の方が足を運んでくれました。

また17名のサバイバーさんが元気な姿を見せてくれました。

On Lineでの参加も定着てきて3日間で約600名に視聴していただきました。

サバイバートーク「がんと生きる・がんと働く」では元CAで治療しながらフライトを続けていた女性の話にとても感銘を受けました。

コロナの規制で夜間は会場の使用が出来ない為、リアル会場は夜間停止となりましたが新しい試みとして、On LineでRFLJ御茶ノ水実行委員会さんとつながったり、夜中にがん拠点病院めぐりを行い配信したり、河川敷に移動して夜明けを配信したり、等々やってみました。逆境にめげない、じっとしていられない、大阪あさひが証明されたような夜超えでした。大阪あさひとしての開催は今年で8回目となりました。

これからも初心を忘れず「世界一やさしいリレー・フォー・ライフ」を目指して頑張り続けます。



リアル開催 10月23日～10月24日

開催地 大阪市立旭区民センター

オンライン 10月23日～10月24日

SWR 一

総 収 入	356,408円
実 行 経 費	38,496円
寄 付 総 額	317,912円

兵庫県 芦屋市

オンライン開催を無事に終えることができました

実行委員長
着能“きらきら”敬子

皆さまのお陰をもちまして9月4日「RFLJ2021芦屋」のオンライン開催を無事終えることができました。

昨年、川西運動場での開催ができず、今年こそは皆まと走ったり、歩いたり、語り合ったりしたいと準備を進めてまいりましたが、まん延防止等重点措置のため苦渋の決断を迫られ、泣く泣く屋外での開催を取り止めました。

本当に悔しく悲しい思いでいっぱいでした。でも、気持ちを切り替え規模を縮小し青少年センターのみでの開催に向けさらに準備を進める中、今度は緊急事態宣言が発出されました。私たちは、悩みに悩みました。“皆さまの大切な命を守りたい・皆さまと繋がりたい・皆さまに想いを届けたい”

この状況下で私たちにできることは何かを考えました。そして、完全オンライン開催を行うことにしました。それぞれの場所からみんなで繋がり、同じ時間を過ごし、心を通わせることができればと思いオンライン配信を行いました。

実行委員のみんなも、それぞれの場所からの配信となりとても不安でしたが、お互いを信じ皆さまに想いを届けたいという気持ちで臨みました。画面を通してですが皆さまと繋がることができたこと、大変嬉しく思っております。来年は会場で皆さまにお会いできることを願っております。

最後になりましたが皆さまからの温かいお言葉、ご支援、ご協力に心より感謝しております。本当にありがとうございました。



リアル開催 9月4日

開催地 市立体育館・青少年センター

オンライン 9月4日

SWR 一

総 収 入	1,544,354円
実 行 経 費	770,781円
寄 付 総 額	773,573円

大阪あさひ実行委員会

兵庫県 神戸市

「再会できた喜び」

実行委員長
相川 尚子

今年は、昨年以上に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、積み上げてきた開催予定が二転三転した大変な年となりました。

「本当に開催できるのだろうか」と実行委員の心も折れそうになる中、サバイバーさんから届いた心強い応援のメールやメッセージにパワーをいただいたことで、前に進むことができたと思います。サバイバーさんやケアギバーさん、そしてRFL神戸を応援してくださる皆さまとの絆を、より実感することができました。

時短開催で残念ながら今年は夜越えができませんでしたが、リレーウォークにキャンドルラン、ミュージックバトン、語らナイト。そしてあの震災の日以来灯り続ける「希望の灯り」を、竹灯籠のHOPEとルミナリエに移して灯すキャンドルライトセレモニーとエンブティーブルの朗読など、神戸ならではの「命のリレー」を、今年も繋ぐことができたことに、ご支援ご協力いただいたすべての皆さんに、感謝の思いでいっぱいです。

緊急事態宣言解除直後という状況の中、予想以上に多くの皆さんにご来場いただき会場内のいたるところに笑顔が溢れ、あちこちから聞こえる「やっと会えたね」「また会えてよかったね」という再会を喜ぶ声に、開催を決めて本当に良かったという思いがこみ上げてきました。この絆を大切にし、「神戸にできる、神戸ならでは」のRFLの活動を、これからも続けていきたいと思います。



リアル開催 10月30日

開催地 みなとのもり公園

オンライン 10月30日

SWR 10月30日～11月28日

総 収 入	919,458円
実 行 経 費	873,827円
寄 付 総 額	45,631円

わかやま実行委員会

和歌山県 和歌山市

WEBで伝えるリレー・フォー・ライフ

事務局長
岩倉 敏浩

いつもリレーフォーライフわかやまを応援いただきありがとうございます。

今回も多くの方々にお支えいただき、無事にイベントを開催できました。コロナ禍で動きづらい環境下であっても、WEB上で「待ってました」とお声がけいただけたこと、大変嬉しく心が温まる想いでした。

今年は天候に恵まれず9月開催となりましたが、和歌山の通常開催時期である来年5月も、光り輝く和歌山城の下で、皆さまと共に祝い、共に偲び、そしてまた次に向かって立ち向かえる場所を作り続けます。だから楽しみにしていてください。

皆さまお会いできることを、大切な方に会えるその日を、心から楽しみにしています。

今回もたくさんのご声援、本当にありがとうございました。



リアル開催 一

開催地 和歌山城公園砂ノ丸広場

オンライン 一

SWR 9月12日～10月11日

総 収 入	247,530円
実 行 経 費	152,530円
寄 付 総 額	95,000円

広島県 広島市

RFLJ2021広島無事終了!!

実行委員長
浜中 和子

9月19・20日に広島大学広仁会館でRFLJ広島を開催し無事に終了しました。広島県にはコロナの緊急事態宣言がでていましたが、2日間開催できることを心から感謝しています。夜間越えはできませんでしたが、会場ではHOPEの灯りが輝き続けていました。コロナ禍と、がんが2人に1人におこる状況の中で本当に大事なこと、それはHOPEだと思います。決して希望を失ってはいけない。どんな状況であっても決して諦めない。どんなに辛い時でも笑顔になるって本当に大事ですね。ルミナリエステージでみんなが一番訴えたかったことは、コロナ禍の中でもがん検診を受けよう、1日でも早く早期発見、早期治療をしてがんで命をなくす方がひとりでも減るようにしよう、というのが共通したメッセージだったと思います。ルミナリエステージで毎年がん体験者の方が伝えてくださる貴重な言葉、それはRFLの大事な宝物だと思っています。この2日間で得た素晴らしい内容を多くの方に伝えて、がんで命を失くす人が少しでも減るようにこのRFLから発信していきましょう。今一番大事なこと、それは人と人とのつながり、絆ではないでしょうか。家族、友達、仲間周りの方とのつながりを大事にしてこのコロナ禍を生き延びて行きましょう。生きているだけでも幸せだと思います。これからも私たちはRFLを通じて支えあい助け合い頑張っていきましょう。多くの方に支えられてRFLJ広島が実行できること心より感謝申し上げます。

広島実行委員会



リアル開催 9月19日～9月20日

開催地 広島大学広仁会館

オンライン 9月19日～9月20日

SWR 一

総 収 入	1,682,634円
実 行 経 費	994,634円
寄 付 総 額	688,000円

山口県 山口市

想いをルミナリエにのせて

事務局長
田部 一則

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021やまぐちは、10/2（土）にルミナリエ撮影会を実施いたしました。新型コロナウイルスによる影響の中、多くの皆様の協力によって開催できることに大変感謝申し上げます。

実行委員会のメンバーとも久しぶりに顔を合わせることができ、心に残る素敵な時間を過ごすことができました。山口市内の中学生（18校511枚）、県内拠点病院のみなさんにメッセージを寄せいただき、会場を紫色の風船とライトで飾り付けました。優しい言葉と美しい電飾によって作られたルミナリエが他の何にも代えがたい空間を生み出していました。

そのような中で仲間との久々の交流にとても心が癒され、たくさんの思い出に残る写真を収めることができました。新型コロナウイルスの影響で人との距離がどうしても広がってしまう昨今ですが、人と人との想いの繋がりはやはりかけがえのないものであり、こうした活動が誰かの心の支えになることを強く祈ります。まだ先行きの見えない日々が続きますが、これからも同様に活動を続けられるように一同努力してまいりたいと存じます。

次年度は対面での開催とWEB上での開催を掛け合わせたハイブリット型のイベントを目指したいと考えております。物事をプラスに捉え、今だからこそできることを実現できたらと思う次第です。がんと向き合うすべての皆さんのために精一杯活動していきたいと思います。

やまぐち実行委員会



リアル開催 10月2日

開催地 山口県総合保健会館

オンライン 一

SWR 一

総 収 入	277,754円
実 行 経 費	80,028円
寄 付 総 額	197,726円

徳島県 徳島市

「寄り添う」を続ける

デジタル広報担当
上野 一

昨年に引き続きコロナに振り回されることとなった2021年。しかし「寄り添う」気持ちは決して絶やしてはなりません。

徳島では、緊急事態宣言などの発出はなかったものの、県独自のアラート発動により本年も開催規模の大幅縮小を余儀なくされました。実行委員会開催においても対面開催は数回にとどまり殆どがオンラインの形を取らざるを得なくなりました。

夜越えを『推奨』という対がん協会からの基準変更もあり、小規模でのリアル開催について試行錯誤を重ねてまいりましたが、本年も『動画配信』と『エンブティープルのみ開催』。多くの方にご協力・ご支援を賜り、本当にありがとうございます。

「寄り添う」というのは言葉では簡単なことかもしれません、カタチにしようとするとなかなか難しいですね。

私個人の話になりますが、実行委員2年目。戸惑うことは多々ありますが、先輩方が「寄り添って」くださっているからこそできていることです。そして私自身もサバイバーとして「寄り添う」ことについてもっとできることがあるのではないか?自問自答の繰り返しです。

次回開催時にはコロナが終息し、患者様や家族様に「寄り添う」環境を整え、RFLに触れる機会が少ない方たちにもピックアップされるようなことができたらと思っています。『再会』『再開』そして『出逢い』がありますように。

今後ともとくしま実行委員会は寄り添っていきたいと思います。

とくしま実行委員会



リアル開催 一

開催地 一

オンライン 10月16日

SWR 一

総 収 入	404,777円
実 行 経 費	304,656円
寄 付 総 額	100,121円

かがわ高松実行委員会



リアル開催 6月5日

開催地 サンポート高松

オンライン 6月5日

SWR 一

総 収 入	572,882円
実 行 経 費	333,014円
寄 付 総 額	239,868円

高知県 高知市

「思いをつないでいく」

事務局長
小野川 雅英

昨年は新型コロナウイルス感染症流行のため残念ながら中止しましたが、代替えとして会場を準備しルミナリエバックへの点灯やルミナリエセレモニーを実施しました。そしてその模様をWebで配信し、見て下さった方々から喜びや感謝の声をいただきました。

今年は何とかみんなで集まれる場を提供したいと秋の開催に向けて準備してきました。夏頃までは変異株の流行など実施できるか不透明な状況が続きましたが、ワクチン接種が進んできたことが影響したのか急速に感染者数も減少し10/16 春野運動公園で、半日ではありましたが予定通り開催することができました。

当日の天気予報は雨。せっかくの開催なのにと心配しましたが、みんなの気持ちが伝わり開催時には晴れ間が差してくれました。参加された方の表情はみんな笑顔で、開催に向けて準備してきて良かったと心から思えました。

今年、参加チームは11チームと少なかったですが、個人参加も含めて350名程の参加者を得て開催できました。また、当日の模様はfacebookにもアップし多くの方に見ていただきました。開催にあたり、実行委員会メンバーだけでなくボランティアスタッフや参加者にも多大なご協力をいただきました。また、企業・団体の皆様からは引き続き後援・協賛をいただきました。心から感謝申し上げます。

来年は15周年の節目を迎えます。実行委員長はすでに来年は24時間イベントを実施するぞと燃えています。

高知実行委員会



リアル開催 10月16日

開催地 高知県立春野総合運動公園

オンライン —

SWR —

総 収 入 1,483,631円

実 行 経 費 530,256円

寄 付 総 額 953,375円

福岡県 福岡市

参加者の笑顔とやさしい光に包まれて！

実行委員長
花村 茜

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催を断念せざるを得ませんでしたが、今年はいつもとは、表情の異なる新会場で13回目となる福岡のリレーを開催する事が出来ました。

この開催を迎えるまで多くの課題がありました。その都度、何度も何度も会議を重ねアイデアを出し合い当日を迎えた時には、ただただ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。そして、久しぶりの再会。参加者チーム皆さん溢れる笑顔を会場のあちこちで見る事が出来て、やっぱりやって良かったと、全てが報われた思いでした。歩く両脇には冬の桜をイメージしたピンクのイルミネーションが。そして、その奥の階段には、HOPEと命のルミナリエが輝き、歩き続ける人たちの心を明るく照らしてくれました。RFLはサバイバーだけでなく支える側のケアギバーの心の拠り所としてもとても大切な居場所です。また、遠くにいて参加出来ない方や会場に来られなかった方にも聞いてもらいたいとYouTube配信をしました。

RFLは、サバイバーと勇気と希望を分かち合う世界共通のチャリティーアイベントであり、ここで見るたくさんの笑顔は、自分らしく生きる事へのエールです。RFLでの出会いを活かしてこれからも生きる力に繋がるよう命のリレーを続けていきたいと思います。これまで、RFL福岡を応援して下さいました皆様のご協力ご支援に心より感謝申し上げます。また、来年笑顔で会いましょう。

福岡実行委員会



リアル開催 11月21日

開催地 福岡女子大学キャンパス

オンライン —

SWR —

総 収 入 823,283円

実 行 経 費 343,300円

寄 付 総 額 479,983円

佐賀県 佐賀市

「コロナ禍で開催したパネル展」

会計監査
福島 龍一

コロナ禍の状況が見えない中で、「出来れば開催したい」という熱い思いで、今年度もスタートしましたが、残念なことに第5波の影響により、2021大会は中止という判断をせざるを得なくなりました。併せて、毎年タイアップして開催されていた「がん征圧県民のつどい」もまた中止という結果に終わり、昨年度のような形での開催も断念することとなりました。しかし、コロナ禍の推移を見ながら、何か行なうことが見つかれば、その時には形を変えてでも内容を縮小しても行なうという実行委員の熱意が実って、10月18日（月）から21日（木）にかけて、佐賀県庁県民ホールにおいて、パネル展という形でリレー・フォー・ライフの告知活動を行なったところです。また、セルフウォーキリレーへの参加、ホームページやフェイスブックで実行委員のリレー・フォー・ライフに対する思いを掲載させていただき、今年度の集大成とさせていただきました。

この様な厳しい状況下においても協賛金や募金をしていただいた有志の方々には、大会という形でのご報告は出来ませんでしたが、お預かりした基金は、がん征圧のために有効に活用させていただきたいと思います。最後に来年度がどのような状況になるのかは見えていませんが、がん征圧に向けての啓発活動をより充実したものへと進歩させていくことを目指して、今年度の報告とお礼とさせていただきます。



リアル開催 —

開催地 —

オンライン —

SWR 9月1日～9月30日

総 収 入	791,834円
実 行 経 費	275,317円
寄 付 総 額	516,517円

佐世保実行委員会



長崎県 佐世保市

RFLJ 長崎県初開催を目指して

実行委員長
吉村 市代

佐世保でのRFLJ開催が決まったのは2020年の3月でした。翌年6月開催と決定し委員会メンバーは希望に胸膨らませ動き出したのもつかの間、まさかのパンデミックが、やってきました。結局、協議を重ねた結果、安全を優先し1年延期としました。

県内の多くの方々は、RFLJを知りません。医療関係者も例外ではありません。

長崎県はがんの罹患率が全国ワースト上位にも関わらず、なんでがん患者や家族を支援するこのイベントがなかったのか尋ねられる事もあります。がん患者さんで、自分ががんであることを周りの人に隠している方もいます。そんな方も含めリレーイベントに参加しサバイバーズラップで祝福を受ける感動を味わってもらいたい。苦しかった時の体験を自然に話せる場を作りたい。そんな思いで私達は試行錯誤しながら準備を進めています。

PR活動の要としてSWR参加を決め、最終日には、本番と同じ会場を使いウォーキングイベントを企画し、約120名の一般市民の皆様にご参加頂きました。ルミナリエとエンブティテーブルの展示と説明およびミニ版のサバイバートークで会場の皆様に「RFLJってこんな感じですよ、来年本番も絶対ご参加下さいね」と呼びかけました。

2022年6月11日～12日、長崎県初開催、フルパワーで皆様をお迎えします。「海風の街佐世保」でお待ち申し上げます。

リアル開催 —

開催地 —

オンライン —

SWR 11月1日～11月14日

総 収 入	0円
実 行 経 費	0円
寄 付 総 額	0円

熊本県 熊本市

「心ひとつ絆つむいで」の仲間たちと

実行委員長
山本 宏子

昨年くまもとは、第10回のアニバーサリーの会でした。ご来場いただく方々をどうおもてなししようかと実行委員全員がワクワクしながらの準備でしたが、未曾有の「新型コロナ」に外出さえ憚られる日々を送る毎日に一変しました。続く本年も白川公園でのイベントも中止をすることとなりましたが、新緑の美しい白川公園を見て頂きたく実行委員数人で小さなイベント…頂いたルミナリエや竹明かりを見ていたくことにしました。白川公園でのイベントはほとんどが良い天気に恵まれての開催でしたが、朝から終日の雨。11回目のくまもとは実行委員や参加予定だった方々の無念の涙のように感じたのは私一人ではなかったと思います。

「心ひとつ絆つむいで」のくまもとのスローガンは、東北の地震津波の数日前に誕生した言葉でした。癌を経験した私、その数年後にたった一人の妹を血液癌で亡くしました。自分の治療が終わった直後、ネットで同じ病気の仲間を探し、シリアルに住む日本人女性と知り合うことが出来ました。そこで彼女の参加するRFLを知りました。平成11年のことです。その後、色々な女性癌の人との交流で日本の開催を知るにあたり、是非この活動に参加したいと思うようになりました現在に至っています。

心ひとつ絆つむいで…で繋がった仲間たちとリレーを続けサバイバー、ケアギバーの方々と繋がり、10・11回目も始めた12回目の開催を予定しています。ワクワクしています!

くまもと実行委員会



リアル開催 ー

開催地 白川公園(熊本市)

オンライン ー

SWR ー

総 収 入	649,124円
実 行 経 費	247,372円
寄 付 総 額	401,752円

大分県 大分市

3年ぶりの再会

実行委員長
清原 裕之

14年目の大分実行委員会ですが、昨年はコロナ禍、加えて一昨年は荒天で開催できなかったため、リレーの灯を絶やさないためにも会場でのリレーが出来ないかと模索しました。そして、昨年挑戦した新たな経験と他会場の感染対策を共有し、短時間ではありますが3年ぶりにいつもの会場で皆さんとお会いすることができました。

本来は多くの方に知って頂きたいのですが、感染対策として来場人数の制限や事前登録のため日々の広報ができず、感染拡大・縮小が繰り返される中で難しい判断が続きました。この様な状況下でできる事、サバイバーの皆様にご自身で描いた手形を集めたサバイバーフラッグを作成しました。そして、会場以外でもウォーキングができるセルフウォーキラーを実施し、感染が落ち着いた中で大会を迎えることができました。例年参加しているサバイバーさん・チームも今年は参加できないという方が多くいました。しかし、短縮開催にも関わらず多くの方に集まって頂いた事は皆様のリレーへの強い思いと、この思いに応える実行委員会の責任の大きさを改めて感じました。このような状況で頂きました温かい声援・ご支援は実行委員会にとても大きな力となりました。改めて御礼を申し上げます。そして、いつか会場で会える日が来るまで『会えなくても繋がっている』気持ちを大切にし、リレーの灯を絶やさないようコロナ禍でもできることを続けていきたいと思います。

大分実行委員会



リアル開催 10月24日

開催地 大分スポーツ公園大芝生広場

オンライン ー

SWR 10月14日～10月24日

総 収 入	926,097円
実 行 経 費	112,834円
寄 付 総 額	813,263円

宮崎県 宮崎市

たくさんの想いと一緒に
希望の光を灯しましょう実行委員長
ガードナー 真理

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2021宮崎は、去る10月2日3日フィオーレKOGA看護専門学校において、青空の下開催いたしました。コロナウイルス感染症の影響で小規模開催となりました。感染症対策を徹底し無事故で終える事ができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。多大なるご寄付・ご協賛下さった皆さま、快くステージにご出演下さった皆さま、ボランティアでご参加下さった皆さま及びたくさんの想いを込めたルミナリエを書いて下さった皆さま、そして何より熱い想いで今回のリレー・フォー・ライフ会場まで足を運んで下さった皆さんに、心より感謝申し上げます。

寄付金は、運営費を除き、日本対がん協会を通じ「がんの研究助成」「ホットライン等の患者支援」「若手専門医の奨学金」等に使用されます。がん患者さまやそのご家族はもちろん、全ての方々に「来年も楽しみにしているよ!」と言つていただけるイベントとなるよう実行委員一丸となって頑張って参りたいと思いますので、これからも何卒ご支援、ご協力をいただけますようよろしくお願ひ申し上げます。



リアル開催 10月2日～10月3日

開催地 フィオーレKOGA看護専門学校

オンライン ー

SWR ー

総 収 入	767,349円
実 行 経 費	181,461円
寄 付 総 額	585,888円

沖縄うらそえ実行委員会

沖縄県 浦添市

どこからでも気軽に参加できる!

実行委員長
上原 弘美

今年はSWR参加とオンラインとラジオを組み合わせたイベント開催でした。SWRはアプリ登録に多少手間取ったものの歩数がカウントされ誰がどのくらい歩いたのか、参加者同士で楽しく競うことができました。歩くことで健康増進、そして寄付に繋がる仕組みが素晴らしいと思いました。

12月11日(土)は晴天の中、浦添市西原公民会場でオンラインイベントが開催されました。オンラインゆんたくタイムに始まり、セミナーやルミナリエセレモニー、サバイバーズトークなど盛りだくさんのプログラムが配信されました。少し高台で景色を遮るものもない会場に差し込む太陽の光が次第に沈み夕暮れになると、ルミナリエが灯りはじめ「HOPE」の文字が輝き会場を温かく包んでくれました。その後は会場をFM21ラジオ局に移し、日頃気になることを医師や看護師に質問する「ありんくりん相談コーナー」や「ラジオでつながるルミナリエ」、翌朝はオンライン「朝日を見よう」で無事閉幕となりました。慣れない素人が操作するオンラインイベントはトラブル発生もありましたが、いつもの「なんくるないさ~」精神で乗り切りました。リアルに会えない寂しさやもどかしさもあるけど、オンラインだからこそ全国津々浦々、遠くても体調が悪くても自宅から、ベッドの中から、どこからでも気軽に参加できる良さを感じたイベントでした。今年もご協力ご支援いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



リアル開催 ー

開催地 ー

オンライン 12月11日～12月12日

SWR 11月1日～11月30日

総 収 入	515,395円
実 行 経 費	159,071円
寄 付 総 額	356,324円

2021 特別協賛

総合教育・生涯学習機関



小野薬品工業株式会社

SANOFI

Gold AnchorTM
GAジャパンカンパニー合同会社



あなたの未来を強くする
住友生命

Sony Life

Daiichi-Sankyo

大樹生命
日本生命グループ

武田薬品工業株式会社

CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュ グループ

DELTA

Bristol Myers SquibbTM

BECKMAN
COULTER

POLA

MUFG 三菱UFJ銀行

※五十音順

がんで苦しむ人や悲しむ人をなくしたい

公益財団法人
日本対がん協会



日本対がん協会公式 HP

<https://www.jcancer.jp>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン
公式 HP

<https://relayforlife.jp>



リレー・フォー・ライフ・ジャパン
公式 Facebook

<https://www.facebook.com/RelayForLife.Japan>